

15人が重役に立候補

水俣病を告発する会

一株運動で新戦術

【大阪】水俣病企業責任を追及するため一株運動を進めている「水俣病を告発する会」はチツリ会社(江頭豊社長)・本社大阪市北区宗是町一の株主総会前に、十一日朝代表が同本店を訪れ、同夜重役の退任要求と全員重役立候補を申し入れた。『一株重役戦術』はG.M.社の株主総会で

ラルフ・ナイダー氏がやっているが、わが国では例がない。

この朝十一時すぎ告発する会の旗を先頭に同店を訪れた会員の会社員大原八十八さん(三九人は

川村和男同社大阪事務所長に対し、「水俣病の原因となつた有機水銀の流れを当然知つていてもかわらずこれを放置し水俣病を

大量発生させ、会社に損害を与えた影響は重大だ」と江頭社長をはじめ重役全員の退任を要求、かわりに重役に立候補する会員の名簿を手渡した。

これによると立候補するのは後藤幸典弁護士(三三)や元会社員前田洋三さん(三九十五人で、前田さんが社長に立候補するのをはじめ

重役三人と監査役一人。
同社では十日に開かれた役員会で今期の総会を二十六日午前十一時から大阪・西区の大坂厚生年金会館大ホール(一千四百人収容)

で行なうことを決めていたが、大原さんは①ことは株主の入場制限をしないこと②患者の要求を

乗組み、江頭社長らを追及したが、同会では今期の総会ではこの退任要求を中心に、大阪地裁に提訴中の前期総会無効確認も訴える

て申し入れた。これに対し川村所長は「みなさんの意見を社長に伝える」と立候補名簿の受領書にサインした。

この日の申し入れは商法三五六項に基づいて株主総会の株主選任の「累積投票」を要求したもの。しかし同店では「わが社の定款には累積投票を認めない規定があり、法律的には申し入れは問題にならない」としている。前期総会では巡礼姿の患者をはじめ全国から一株主約千五百人が乗り込み、江頭社長らを追及したが、同会では今期の総会ではこの退任要求を中心、大阪地裁に提訴中の前期総会無効確認も訴える